

URBIO 2010 国際会議 都市における生物多様性とデザイン

口頭発表セッション

「都市における生物多様性とデザインへの企業の社会的責任」

参加報告書

財団法人都市緑化基金

Urban Green Space Development Foundation

■概要

- ・セッションタイトル：Corporate responsibility for urban biodiversity & design
(都市における生物多様性とデザインへの企業の社会的責任)
- ・開催日時：2010/05/21 10:20～11:50
- ・開催場所：WINC Hall (ウィンクあいち内)
- ・発表タイトル：
 - ・上野芳裕((財)都市緑化基金)「都市の生物多様性におけるSEGESの意義」
 - ・原口真(三井住友海上火災保険(株))「生物多様性保全への取組のひとつとしての駿河台ビル」
 - ・池上博身(トヨタ自動車(株))「トヨタの森における環境緑化・環境教育活動について」
 - ・加賀真(ソニーEMCS(株)東海テック)「『ソニーの森』を活用した従業員参加の生物多様性への取組み」
 - ・畠山義彦(富士通(株))「都市近郊生態系ネットワークの構築に向けて」
 - ・三輪隆(株竹中工務店)「企業が使用し管理する緑地などの土地利用を評価する試み」

■企画趣旨

都市の過半は民有地であり、都市の生物多様性とデザインを考える場合、公共セクターと同時に民間セクターが、その土地利用の方法やコミュニケーションの方法をどのように考え、どのように振舞うかが重要になってくると考えられる。都市における生物多様性とデザインが、大きな枠組みでようやく検討が始められるなか、企業の中にはいち早く「自分達に何ができるか、何をすべきか」を考え取組みを始めている企業がある。

本セッションでは、企業自らが率先して、自らの事業活動の場の「みどり」を拠点とした、生物多様性への取組み事例から、都市における生物多様性とデザインへの企業の参加方法や姿勢を考察し、今後の可能性やあり方を検討する。